



クイックガイド(日本語簡易版)

この度は弊社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に「安全上のご注意」(2ページ)を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができる場所に必ず保管してください。

もくじ

本書に掲載している画面表示やイラストは説明用のものであり、実際の表示とは多少異なります。

もくじ	1
安全上のご注意	2
使用上のご注意	3
パッケージの内容 ※ご使用になられる前にご確認下さい。	4
本体各部の名称	4
本体の仕様	5
Windows の初期設定を行う	6
ケースを開ける方法、閉じる方法	7
メモリの増設方法	7
M.2 スロットに SSD を増設する	8
VESA マウントの使用方法	9
Windows の使用方法	9
OS のリカバリー(回復方法)	10
BIOS ユーティリティについて	11
BIOS のアップデート(更新)について	13
eBLU (BIOS ライブアップデートユーティリティ)	13
eDLU (ドライバーライブアップデートユーティリティ)	13
添付の DVD ドライバディスクについて	13

○ 安全上のご注意

本機をお使いになる前に必ず読み、正しく安全にお使いください。

- ・この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
- ・内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。



人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

異物を入れない

- ・通風孔(裏ぶたのすき間)などからもの(可燃性・導電性のものを含む)を入れると、火災・感電の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

電源プラグの刃や刃の付近に、ホコリや金属物が付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除く

- ・そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

交流100ボルト以外の電圧で使用しない

- ・火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、

加熱したりしない

- ・電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)交換をご依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感電の原因となります。

本機の裏ぶたを外したり、改造したりしない

- ・内部には電圧の高い部分があるため、さわると感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店にご依頼ください。

不安定な場所に置かない

- ・落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

本機の上に花びん等、水の入った容器を置かない

- ・水がこぼれるなどして中に入ると、火災・感電の原因となります。

台所や屋外など、PCIに水が入るような使いかたをしたり、ぬらしたりしない

- ・火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

電源コードに重いものを載せない

- ・火災・感電の原因となります。

本機を風呂やシャワー室のような湿気の多いところで使用しない

- ・火災・感電の原因となります。

落としたり、ケースを破損したときは、電源プラグを抜く

- ・そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

煙やにおい、音などの異常が発生したら、電源プラグを抜く

- ・異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。

修理を販売店に依頼してください。

- ・お客様自身による修理は絶対におやめください。

内部に水や異物、または虫などが入ったときは、電源プラグを抜く

- ・そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

雷が鳴り出したら、アンテナ線やプラグに触れない

- ・感電の原因となります。

使用中に本機を布や布団などで覆ったり包んだりしない

- ・熱がこもって、火災の原因となります。

異常に温度が高くなるところには置かない

- ・特に真夏の車内や車のトランクの中は、想像以上に高温になります。本機を絶対に放置しないでください。火災の原因になることがあります。

また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

本機を長時間使用する場合、特に高温環境では熱くなる場合がありますので注意する。

- ・長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となることがあります。特に肌の弱い方はご注意ください。



人がけがをしたり財産に損害を受けおそれがある内容を示しています。

免責事項

お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

風通しの悪いところに入れない・密閉した箱に入れない・じゅうたんや布団の上に置かない・布などをかけない

- ・通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

重いものを置いたり、上に乗ったりしない

- ・倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様やペットにはご注意ください。

通風孔に付着したホコリやゴミをこまめに取り除く

- ・内部や通風孔にホコリをためたまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。お手入れのときや長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

- ・感電や火災の原因となることがあります。

移動させるときは、接続されている線などをすべて外す

- ・接続線を外さないと移動させると、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

ぬれた手でコンセントに触れたり、電源プラグを抜き差ししない

- ・感電の原因となります。

電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない

- ・発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事に交換の依頼をしてください。

電源プラグは確実に差し込む

- ・電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

- ・電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

タコ足配線をしない

- ・火災・感電の原因となることがあります。

○ 使用上のご注意

守っていただきたいこと

ケースのお手入れのしかた

- ・汚れは柔らかい布（綿、ネル等）で軽く拭きとってください。ベンジン、シンナーなどで拭いたり、化学雑巾（シートタイプのウエット・ドライのものも含め）を使うと、本体キャビネットの成分が変質したり、塗料がはげたり、ひび割れなどの原因となる場合があります。
- ・硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、ケースの表面に傷が付きまます。
- ・汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした柔らかい布（綿、ネル等）をよく絞って拭きとり、柔らかい乾いた布で仕上げてください。
- ・殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

プラスチックの中に含まれる可塑性剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

ステッカーやテープなどを貼らないでください

- ・ケースの変色や傷の原因となることがあります。

損害について

- ・お客さま、または第三者使用によるこの製品の誤った使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、この製品の使用によって受けられた損害については、

法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

設置時に関して

- ・本体は電源コンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。
- ・本体の電源ボタンで電源を切っても、電源コードを接続している場合は微量な電力が消費されています。
- ・本体の左右には、それぞれ10cm以上のスペースを空けて設置してください。

長期間ご使用にならないとき

- ・長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

- ・長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源コードを熱器具に近づけない

- ・電源コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たる場所、または調理器具や加湿器の近く、硫化ガス(H₂S、SO₂)が大気中に含まれる温泉地などには設置しない。

- ・火災・感電の原因となることがあります。

- ・大気中に含まれる硫化ガス(H₂S、SO₂)に長時間さらされると、硫化により金属が腐食し、故障の原因となることがあります。

健康のために、次のことをお守りください

- ・この製品を使用しているときに身体に疲労感、痛みなどを感じたときは、すぐに使用を中止してください。

使用を中止しても疲労感、痛みなどが続く場合は、医師の診察を受けてください。

- ・ごくまれに、強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ている際に、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす方がおられます。

このような経験のある方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

また本製品を使用しているときにこのような症状が起きたときは、すぐに使用を中止して医師の診察を受けてください。

使用が制限されている場所

- ・航空機の中などで使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となるおそれがあります。

電磁波妨害に注意してください

- ・本機の近くで携帯電話、ラジオ受信機、トランシーバー、防災無線機などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります

使用温度について

- ・周囲温度は0℃～40℃の範囲内でご使用ください。正しい使用温度を守らないと、故障の原因となります。

結露(つゆつき)について

- ・本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起ることがあります。

結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずにお待ちください。そのままご使用になると故障の原因となります。

- ・本機を冷え切った状態のまま室内に持ち運んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ(結露)、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は避けてください

- ・急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は、画面の表示品位が低下する場合があります。

雨天・降雪中でのご使用の場合

- ・雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機をぬらさないようご注意ください。

直射日光・熱気は避けてください

- ・窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、ケースが変形・変色したり、故障の原因となることがあります。

- ・本体や電池などの部品を、直射日光が当たる場所にさらしたり、火や熱器具などの近くに置かないでください。

LIVA Z USER MANUAL

○ パッケージの内容 ※ご使用になる前にご確認ください。



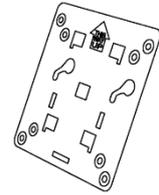
□ LIVA Z本体



□ ネジB 4本 (VESAマウントモニター側用)



□ 電源ケーブル



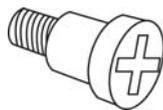
□ VESAマウント



□ ACアダプタ



□ ドライバーDVD (Windows 10用)



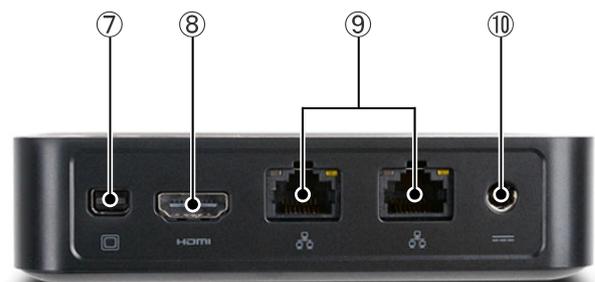
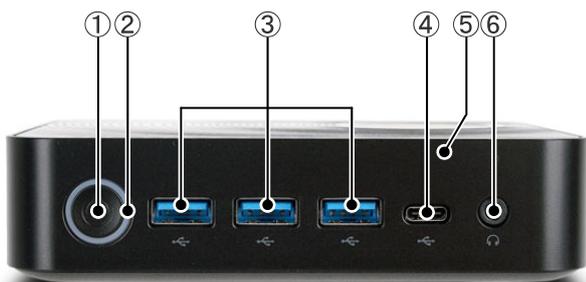
□ ネジA 2本 (VESAマウント本体用)

□ クイックガイド (日本語簡易版) の冊子

※本製品はPC本体のみです。以下の機器は必要に応じて別途ご用意ください。

- ・ モニター: HDMIまたはMini DisplayPort入力対応のもの
- ・ USBキーボード
- ・ USBマウス
- ・ PC用スピーカーまたは、ヘッドホン
- ・ USB接続オプティカルドライブ (DVD/Blu-rayドライブなど)
出来る限り外部から電源供給できる製品をご使用下さい。
USBのみで給電する製品は正常動作しない場合がございます。
- ・ ドライバー(+ No.0) メモリの交換/M.2 SSD増設などの際にご用意ください。

○ 本体各部の名称



① 電源ボタン	本体の電源をON/OFFします。
② 電源LED	電源ON時に点灯するLEDです。
③ USB3.0ポート	USB3.0機器を接続するポートです。 ※ USB3.0コネクタは上下の形状が異なりますので注意して接続します。 USB2.0以下の規格の互換性がありますが、通信速度は機器側によります。
④ USB3.0TypeCポート	USB3.0 Type C機器を接続するポートです。
⑤ 内蔵マイク	録音時、音声認識時に使用します。
⑥ コンボオーディオ端子	φ3.5mm4極、音声出力とマイク入力のミニジャックです。 ※ このジャックはiPhoneなどで使用している、CTIA(Cellular Telephone Industry Association)規格対応です。 モノラルプラグ、ステレオプラグのスピーカーにも対応しております。
⑦ Mini DisplayPort	Mini DisplayPort対応のモニターに接続するポートです。 ※ Mini DisplayPortコネクタは上下の形状が異なりますので注意して接続します。
⑧ HDMIポート	HDMI対応のモニターに接続するポートです。 ※ HDMIコネクタは上下の形状が異なりますので注意して接続します。
⑨ LANポート	LANケーブルに接続するポートです。 ※ LANコネクタは上下の形状が異なりますので注意して接続します。
⑩ 電源端子	専用のACアダプタの電源を接続する端子です。

○ 本体の仕様

	LIVA Z-4/32-W10Pro (N3450)
SoC (System on a Chip)	Intel® Celeron® N3450プロセッサ、 1.10GHz 4コア、4スレッド、2MBキャッシュ バースト周波数 2.20GHz Intel® HDグラフィックス 500
メモリスロット	DDR3L SO-DIMM スロット ×2 デュアルチャネル対応、最大8GB×2、16GBまで
搭載メモリ	4GB 1600MHz ×1 上記スロットに搭載
ストレージ	eMMC 32GB M.2 2242スロット (増設用、2242 SATA 6Gb/s SSDをサポート)
オーディオ	Realtek ALC283 2チャンネル
LAN	Realtek 8111H ギガビットLAN X2
Wi-Fi	IEEE Wi-Fi 802.11a/b/g/n/ac
Bluetooth®	4.2
USB	USB3.0 ×3、USB3.0 Type-C ×1
ボタン	電源ON/OFF
I/Oインターフェース	HDMI×1、Mini DisplayPort×1、LAN×2、電源コネクタ×1 USB3.0 ×3、USB3.0 Type-C ×1、オーディオジャック×1
サイズ	117mm × 128mm × 33mm
搭載OS	Microsoft® Windows® 10 Pro 64bit

LIVA Z USER MANUAL

○ Windowsの初期設定を行う

- ・ 最初の電源投入後はWindowsの初期設定が開始されます。
- ・ 画面の指示に従い初期設定を完了させてください。

※ 初期設定中は電源を切ったり、電源コードのプラグを抜くなどの行為を行いますと故障の原因になります。
※ 必ず、初期設定が終了してからWindowsを終了させて下さい。

下記のような画面が表示されればセットアップは終了です。



○ ケースを開ける方法、閉じる方法

※ ケースを開ける際には内部機器との感電や短絡などの故障の原因を防止する為、必ずACアダプタを外した状態で作業を行ってください。

また、ドアノブなどの金属部分に触れ、静電気を放電してから作業を行って下さい。

1. ケースを開ける方法

1-1. ケース底面の4点の穴にネジで固定していますので、ドライバーでネジを取り外します。



1-2. 底面板を取外します。



※底面板の取り外し方

ACアダプター付近のネジ穴に、ネジ穴と同じくらいの径のドライバーを挿しこみ、ドライバーを倒して、USBポートのある側に少し隙間を作ります。

その隙間に指を入れてUSBポートのある側から底面板を持ち上げます。

2. ケースを閉じる方法

2-1. 底面板を取付けます。

底面板裏側に銀色のテープが貼りついた場所がありますので、銀色のテープ側をUSBポート側になるように取り付けを行います。

2-2. 4点の穴にネジを入れてドライバーで締めつけます。

○ メモリの増設方法

LIVA Z でサポートしているメモリは下記の通りです。

最大サイズ	16GB (8GB × 2枚)まで
使用可能メモリ	DDR3L SO-DIMMメモリ(1.35V駆動) ※DDR3、DDR3U、LPDDR3は対象外です。
デュアルチャネル	可能 (但し、同仕様のメモリを使用の事)
ECC機能	非対応

※ メモリの増設については、ケースを開き、内部機器のパーツを交換となります為、必ずACアダプタを外した状態で作業を行ってください。

また、ドアノブなどの金属部分に触れ、静電気を放電してから作業を行って下さい。

1. メモリの切り欠き部とメモリスロットのキー部の位置を合わせます。

2. メモリスロットに対しメモリを接点側を下に斜めになるようにしてメモリを確実に挿し込み、図のようにメモリを下に押し水平にしてロックします。



※ メモリがロックすると両端の爪がメモリにかかります。メモリを取り外す場合にはメモリスロット両端にあるロックを外側に開けばロックが解除されメモリが持ち上がります。

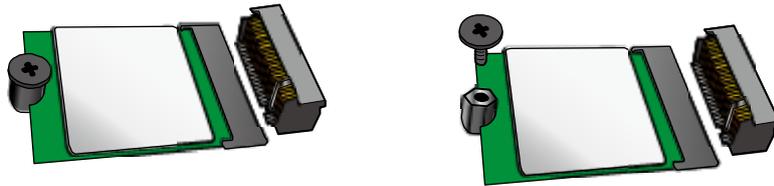
○ M.2スロットにSSDを増設する

LIVA Z でサポートしているSSDはSATA接続のM.2 2242(幅22mm 長さ42mm)です。

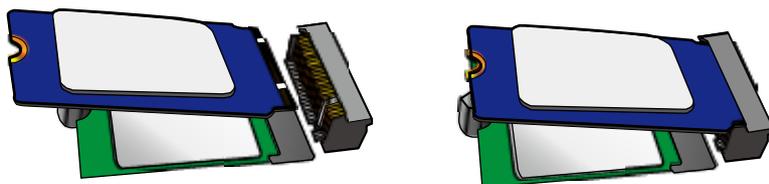
※ SSDの増設については、ケースを開き、内部機器のパーツを交換となります為、必ずACアダプタを外した状態で作業を行ってください。

また、ドアノブなどの金属部分に触れ、静電気を放電してから作業を行ってください。

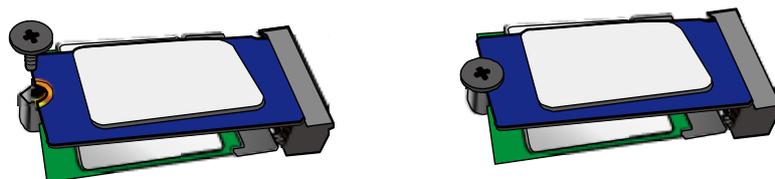
1. M.2スロットにあるネジを外します。 ※下の六角ネジは外さないでください。



2. SSDの切り欠き部とM.2スロットのキー部を合わせ、SSDの接点を下に斜めになるようにしてSSDを確実に挿し込みます。



3. SSDを水平にして項目1で取り外したネジで固定します。

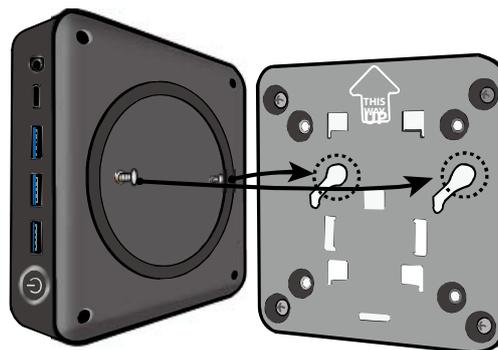


○ VESAマウントの使用方法

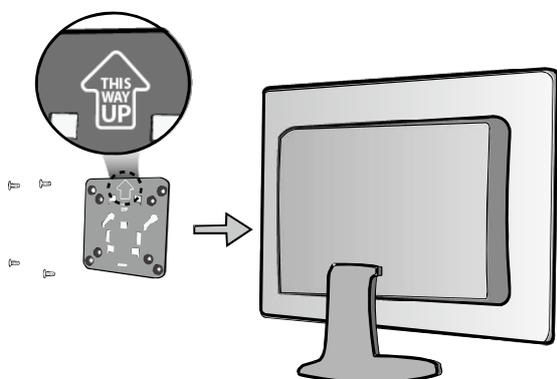
1. 付属のネジAを本体裏に取付けます。



3. LIVAZ 本体に取り付けたネジの頭を VESAマウントに入れ左下におろします。



2. VESAマウントをネジBでVESA対応取付可能なモニターなどに取付けします。



4. 完成図(イメージ)



○ Windowsの使用方法

・ Windowsの起動方法

1. PC 本体の電源を投入します。
2. Windows が起動します。

・ Windows の終了方法

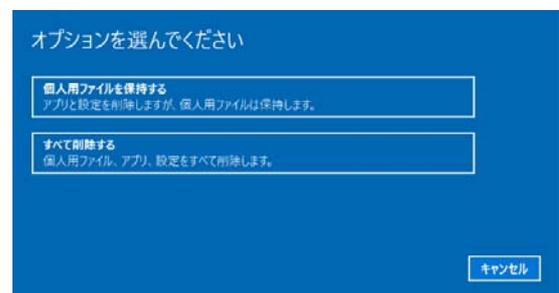
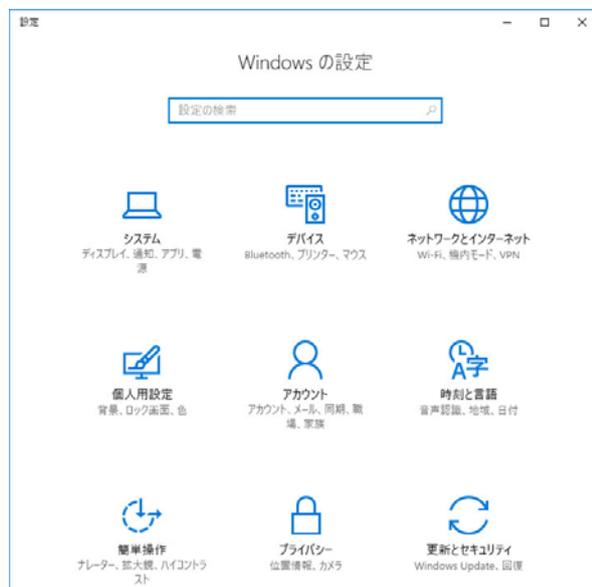
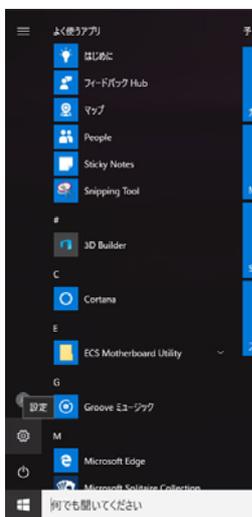
1. 画面左下にある  マークを (左) クリックします。
2. メニューが表示されますので  マーク(電源)を (左) クリックします。
3. 「シャットダウン」を (左) クリックします。
4. Windows がシャットダウンされ、電源が切断されます。



○ OSのリカバリー(回復)方法

PCの動作が不安定など、ご利用のPCに問題がある場合は、PC をリフレッシュ、初期状態に戻す、または復元することができます。

1. 画面左下にある  マークをクリックし、 マーク(設定)をクリックします。
2. 「Windowsの設定」画面の「更新とセキュリティー」のマークをクリックします。
3. 「更新とセキュリティー」画面の左側にある「回復」をクリックします。
4. 「このPCを初期状態に戻す」にある「開始する」ボタンをクリックします。
5. 「オプションを選んでください」で「個人ファイルを保持する」または「すべて削除する」のどちらかを選択し、クリックします。
- 6-1. 「個人ファイルを保持する」をクリックした場合、「このPCを初期状態に戻す準備ができました」の画面が表示されますので、「初期状態に戻す」のボタンをクリックすると再起動が行われ、作業を行います。
- 6-2. 「個人ファイルを保持する」をクリックした場合、「ドライブのクリーニングも実行しますか」の画面になり、「ファイルの削除のみ行う」または「ファイルを削除してドライブのクリーニングを実行する」のどちらかを選択し、クリックします。
再起動が行われ、作業を行います。



○ BIOSユーティリティについて

BIOS項目 設定の変更について

※ USBキーボードが必要になります。

BIOS項目はお客様側にてBIOSユーティリティを使用し設定を変更する事が可能です。

しかしながら、該当項目の設定内容を理解せずに変更を行いますと性能を十分に発揮出来ない状態になる場合や動作しなくなる場合も十分考えられます為、可能な限り規定値にてご使用くださいます様お願い申し上げます。

・ BIOS設定の表示方法

本体の電源を投入した後にキーボードの「Del」キーを押します。

右記の表示がBIOSユーティリティの初期画面になります。

Aptio Setup Utility - Copyright (C) 2015 American Megatrends, Inc.	
Main	Advanced Chipset M.I.B III Boot Security Exit
BIOS Information	Choose the system default language
System Language [English]	
System Date [Thu 12/03/2016]	← : Select Screen
System Time [12:34:56]	↑↓ : Select Item
BIOS Version 16.11.10	Enter : Select
	+/- : Change Opt.
	F1: General Help
	F2: Previous Values
	F3: Optimized Defaults
	F4: Save & Exit
	ESC: Exit
Version 2.18.1263. Copyright (C) 2016 American Megatrends, Inc.	

・ BIOS設定の工場出荷時設定(規定値・最適値)の設定方法

「→」または「←」キーにて「Exit」のタグへ移動します。

「↓」または「↑」キーにて「Restore Defaults」の項目を選択し、「Enter」キーを押すかまたは、「F3」キーを押します。

再度、確認のメッセージが表示されますので、「Yes」を選択し「Enter」を押します。

Aptio Setup Utility - Copyright (C) 2015 American Megatrends, Inc.	
Main	Advanced Chipset M.I.B III Boot Security Exit
Save Changes and Exit	Exit system setup after saving the changes.
Discard Changes and Exit	
Save Changes and Reset	
Discard changes and Reset	
Save Options	← : Select Screen
Save Changes	↑↓ : Select Item
Discard Changes	Enter : Select
	+/- : Change Opt.
	F1: General Help
	F2: Previous Values
	F3: Optimized Defaults
	F4: Save & Exit
	ESC: Exit
Restore Defaults	
Save as User Defaults	
Restore User Defaults	
Boot Override	
Version 2.18.1263. Copyright (C) 2016 American Megatrends, Inc.	

・ BIOS設定の(保存・)終了方法

「→」または「←」キーにて「Exit」のタグへ移動します。

「↓」または「↑」キーにて「Save Changes and Exit」の項目を選択し、「Enter」キーを押すかまたは、「F4」キーを押します。

再度、確認のメッセージが表示されますので、「Yes」を選択し「Enter」を押します。

BIOSの設定が保存され再起動されます。

Aptio Setup Utility - Copyright (C) 2015 American Megatrends, Inc.	
Main	Advanced Chipset M.I.B III Boot Security Exit
Save Changes and Exit	Exit system setup after saving the changes.
Discard Changes and Exit	
Save Changes and Reset	
Discard changes and Reset	
Save Options	← : Select Screen
Save Changes	↑↓ : Select Item
Discard Changes	Enter : Select
	+/- : Change Opt.
	F1: General Help
	F2: Previous Values
	F3: Optimized Defaults
	F4: Save & Exit
	ESC: Exit
Restore Defaults	
Save as User Defaults	
Restore User Defaults	
Boot Override	
Version 2.18.1263. Copyright (C) 2016 American Megatrends, Inc.	

・年月日及び時刻の変更方法

BIOSユーティリティの初期画面の「Main」タグ内に、「System Date」と「System Time」があります。「System Date」は日付、「System Time」は時間となり、「+」または「-」キーにて値を変更させて「Enter」キーを押すか、「0」から「9」までの数字を直接入力し「Enter」キーを押し、設定を行います。
 ※ 年月日及び時刻の設定はOS内の「日付と時刻の設定」にて変更が可能です。

Aptio Setup Utility - Copyright (C) 2015 American Megatrends, Inc.		
Main	Advanced	Chipset M.I.B III Boot Security Exit
BIOS Information		Choose the system default language
System Language	[English]	
System Date	[Thu 12/03/2016]	→ ←:Select Screen ↑↓:Select Item Enter : Select +/- : Change Opt. F1:General Help F2:Previous Values F3:Optimized Defaults F4:Save & Exit ESC:Exit
System Time	[12:34:56]	
BIOS Version	16.11.10	
Version 2.18.1263. Copyright (C) 2016 American Megatrends, Inc.		

・起動順序の変更方法

「→」または「←」キーにて「Boot」のタグへ移動します。

「↓」または「↑」キーにて「Set Boot Priority」下の「Boot Option#1～#7」の中の1つ項目を選択し、「Enter」キーを押すと起動可能な機器のリストが表示されますので、「↓」または「↑」キーにて任意の機器を選択し、「Enter」キーを押す事により、機器が確定されます。

Boot Option#の以降の数字は起動の順番となり、1番目の機器が認識しない、起動可能な状態ではない、機器が存在しないなどの場合には2番目以降の機器への起動を試みます。

※ 存在しない、認識しない機器などを上位に選択した場合、規定値や工場出荷時の設定値と比較しOSの起動などに時間がかかる場合がありますので、適切な機器への起動と順序を行って下さい。

Aptio Setup Utility - Copyright (C) 2015 American Megatrends, Inc.		
Main	Advanced	Chipset M.I.B III Boot Security Exit
Boot Configuration		Windows 7 or other OS: Boot policy for legacy OS
Operation System Select	[Windows 8.x/10]	Windows 8.x/10: Boot policy for UEFI OS without Compatibility Support Module (CSM)
Launch Network OpROM	[Disabled]	Linux: Boot policy for UEFI mode Linux without Compatibility
Fast Boot	[Disabled]	→ ←:Select Screen ↑↓:Select Item Enter : Select +/- : Change Opt. F1:General Help F2:Previous Values F3:Optimized Defaults F4:Save & Exit ESC:Exit
Bootup Numlock State	[On]	
Quiet Boot	[Enabled]	
Boot Mode Select	[UEFI]	
Set Boot Priority		
Boot Option #1	[Hard Disk : Windows...]	
Boot Option #2	[CD/DVD]	
Boot Option #3	[USB/Floppy]	
Boot Option #4	[USB CD/DVD]	
Boot Option #5	[USB Hard Disk]	
Boot Option #6	[USB Flash:UEFI:U...]	
Boot Option #7	[USB Lan]	
Boot Option #8	[Network]	
Version 2.18.1263. Copyright (C) 2016 American Megatrends, Inc.		

○ BIOSのアップデート(更新)について

お客様側にてBIOSの更新を行う事が可能です。

但し、起動・動作に問題が無い場合にはBIOSの更新を行う事をお勧めしていません。

BIOSファイル(パッケージなども含む)については、サービスで提供しております為、お客様側でBIOS更新を行い、万一問題を生じた故障又は損害などに関しては一切の責任を負いかねますので予めご了承下さい。

○ eBLU (BIOSライブアップデートユーティリティ)

eBLU (BIOSライブアップデートユーティリティ)はインターネット経由でBIOSファイルのダウンロードおよびアップデートを速く簡単に行います。PCの動作に問題がない場合、アップデートを行う必要はありません。

○ eDLU (ドライバーライブアップデートユーティリティ)

eDLU (ドライバーライブアップデートユーティリティ)はインターネット経由でドライバーファイルのダウンロードおよびアップデートを速く簡単に行います。PCの動作に問題がない場合、アップデートを行う必要はありません。

○ 添付のドライバーDVDディスクについて

添付のドライバーDVDディスクは、お客様側にて別途ご用意頂いたWindows10 OSを新規にインストールする場合に使用します。

製品の情報

このクイックガイド(日本語簡易版)は英語版マニュアルの日本語補足版となります。

その為、詳細内容につきましては、英語版マニュアルをご参照ください。

また、LIVA Z 本体で使用している SOC(System On Chip)、機能チップなどの製品及び、OS(オペレーティングシステム)はそれぞれの会社の商標及び、登録商標となり、詳細につきましては、英語版マニュアルをご参照ください。